

学校法人佐久学園



佐久の薰風

No. 7

2017(平成29)年11月30日発行

発行人 学校法人佐久学園

編集人 学園通信編集委員会

<http://www.saku.ac.jp/>

CONTENTS

- プライマリケア看護コース開設…2・3
- 単位互換協定…2
- manaba…3
- 信州介護学研究会・講座の報告とご案内…4
- 「あしけん」プロジェクト・領域紹介〈老年看護学〉
- 教員の活躍…5
- キャンパストピックス…6・7
- 国家試験対策…7
- 秋桜祭&信陽祭・留学生・スケート部
- Voice of Graduates…8

2018年4月 佐久大学大学院修士課程に プライマリケア看護コースを開設します。



佐久大学大学院
看護学研究科長
松下由美子

平成26年6月に保健師助産師看護師法が改正され「特定行為に係る看護師の研修制度」が平成27年10月1日より施行されました。この制度は今後の在宅医療や高度化・複雑化する医療を支えていく高度かつ専門的な知識と技能を身につけた看護師を計画的に養成していくための制度です。特定行為研修を行う機関は厚生労働大臣が指定しますが、平成29年8月現在、長野県内に指定研修機関はありません。また、高い専門性と優れた看護実践能力をもち、プライマリケアを提供する看護職者の必要性も高まっています。

佐久大学大学院では、平成30年4月より「プライマリケア看護コース」を開設します。本コースでは、在宅、施設、慢性期病棟などで、急性疾患発症時の初期対応や、比較的軽い症状や慢性疾患をもつ患者の様々な訴えに対して、看護学と医学の視点から包括的なアセスメントを行い、必要な検査、臨床判断、治療の管理、治療効果の評価を自律的、かつ必要に応じて他職種と連携・協働して実施できる看護師の育成を目指します。

本コースで必要な能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生には、修士(看護学)の学位と特定行為研修(特定行為のうち、在宅や施設などで実施する頻度の高い8区分17行為)修了、日本NP教育大学院協議会が実施するNP資格認定試験の受験資格が授与されます。

本コース修了者は、それぞれの医療現場で医師の包括指示のもと、患者・高齢者に対して質の高い医療・看護をタイムリーに提供し、現場のキーパーソンとして活躍することが期待されます。

Q

NPとは何ですか？

NP = Nurse Practitioner の略。高い専門性と優れた看護実践能力をもつ高度実践看護師の一つです。一定レベルの診療行為を行う資格を有する看護師で、医師や他の医療従事者と連携・協働し、患者に対して診断と治療を行います。

Q

特定行為とは何ですか？

特定行為は診療の補助であり、看護師が手順書により行う場合には、実践的な理解力、思考力及び判断力、高度かつ専門的な知識・技能が特に必要とされる21に区分される38の行為をいいます。

佐久大学大学院・放送大学大学院 単位互換協定締結式



放送大学大学院との単位互換科目

- 臨床病態生理学特論
- フィジカルアセスメント特論 -1
- 臨床薬理学特論 -1
- 医療安全学特論 -1
- 臨床推論
- 疾病・臨床病態概論
- 特定行為実践特論
- 特定行為共通科目統合演習 (科目名は本学科目名)

放送大学大学院と 単位互換協定締結

佐久大学大学院は、7月12日に放送大学大学院と単位互換協定を締結しました。長野県内の大学院が放送大学大学院と協定を結ぶのは初めてとなります。単位互換の対象となるのは、平成30年4月に開設する看護学研究科看護学専攻プライマリケア看護コースの科目です。プライマリケア看護コースでは特定行為を実施できる看護師の育成を目指します。これに必要な看護師特定行為研修の共通科目8科目9単位が互換の対象となります。単位互換科目はインターネットを利用したオンライン授業です。自宅で受講することができ、大学院生の通学の負担を軽減することができます。プライマリケア看護コースが長野県内における今後の医療を支える高度かつ専門的な知識と技能を身につけた看護師養成の先駆けとなり、看護の役割拡大につなげたいと考えています。

学習進度

※ 修業年限は2年を基本としていますが、3年または4年での修了を目指す長期履修制度を設けています。

1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
16単位	15単位	10単位 3～5週間の実習 3単位	1単位 13～15週間の実習 12単位
特定課題研究2単位			
計59単位			

実習病院 (予定)

佐久市立国保浅間総合病院・鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院・鹿教湯三才山リハビリテーションセンター三才山病院・佐久総合病院 佐久医療センター・北アルプス医療センターあづみ病院・東御市民病院・相澤病院

本コースで身につける6つの能力



近隣病院からの声

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
看護部 齋藤 順子

当センターには老人保健施設や訪問看護部門があります。それらの医師が常駐していない場合に、高いアセスメント能力をもち、医師へのコンサルテーションや救急搬送の判断が適切にできる看護職がほしいと長年考えていました。また、当センターは気管切開や胃瘻を持つ患者が多いため、カニューレ等が外れた時に対処できる看護師が病棟にいれば、患者もスタッフも安心できます。このコースの修了生たちが、特定行為を行える NP として、各現場にいてくれるようになるとういと思っています。そのためには、病院組織として NP が医師と円滑に協働していけるような仕組みを作っていく必要があります。

実習病院としては、慢性期の呼吸器管理、瘻孔管理、感染、脱水の実習を行う予定です。不安もありますが、迎え入れる私たちにとっても勉強の機会になるでしょう。みんなで NP の体制を整えていきたいと思えます。



特定行為研修 体験者の声

佐久大学看護学部准教授

上野 良子

私は現在県外の特定行為研修の指定機関で研修を受けています。特定行為研修の最初の実習「特定行為基礎実習Ⅰ」について紹介します。

この実習では、「医療安全」「倫理」について学んだことや自分の体験を基に、医師を交えて事例検討・グループワークを行いました。さらに、シミュレーターや模擬患者を相手に、医療面接・身体診察の実施から、家族への説明、実施すべき検査項目の選択、入院の必要性の判断、医師への相談・報告までを10分という短い時間の中で行いました。面接技術を高めるために面接場面をビデオ撮影し、研修生同士で相互評価も行いました。1週間にわたる実習の最終日には、医療面接・身体診察に対する観察評価の試験を受け、課題事例に対する筆記試験も行いました。

このような実習を経て、「特定行為基礎実習Ⅱ」「区分別実習」へと進みます。どの実習もその場で適切な判断が求められる厳しい実習ですが、専門分野に特化した知識と安全・確実な技術を習得すべく、奮闘中です。

学習支援システム manaba course



佐久大学では、学習の動機づけや学習支援体制の充実を図るため、学習支援システム「manaba course」と学習サポートアプリ「respon」を導入し、平成29年度前期から授業での利用を開始しました。

「manaba course」は、LMS (ラーニング・マネジメント・システム)の一つで、教員-学生間で講義資料の配付やお知らせの配信、課題管理などで活用しています。「manaba course」上で提出された小テストやレポートなどの学習成果は、すべてポートフォリオ※1に蓄積され、学生が自身の学習履歴を振り返る際に活用することができます。

また、「respon」は、スマートフォンのアプリを利用したクリッカー※2の一つで、教室内で受講者から出席カードやアンケートをリアルタイムに回収し、集計・可視化ができるため、教員が学生の理解度を確認をするだけでなく、アクティブな授業展開が可能になりました。

「manaba course」が学びの情報データベースとして活用され、学生の“学び”がより豊かなことになることを期待しています。

※1 ポートフォリオ = 学習成果を収集し、記録しておくもの。またそれを活かした教育方法。

※2 クリッカー = 授業等を双方向対話型にするシステム。

学習サポートアプリ respon



第6回

信州介護学研究会



信州短期大学部と社会福祉法人ジェイエー長野会が主催する信州介護学研究会(介護環境改善研究会)が、9月9日(土)施設関係者、地域住民、学生ら195名の参加を得て開催されました。「介護のあすに向かって～共生・協働のケアを考える～」をメインテーマに、映画『ケアニン』のモデルとなった加藤忠相氏(あおいけあ株式会社代表取締役)の基調講演「命ある限り自分らしく生きる」からスタートしました。全国的に注目されている『あおいけあ流介護』の実践を、映像をまじえた笑いあり涙ありの熱き語りに会場全体が引き込まれました。トークセッションでは、丸子修学館高校、小海高校、信州短期大学部生の6名が、自分たちがめざす新しい介護について、新鮮かつ頼もしい意見を述べてくれました。午後の実践発表、シンポジウムとあわせ、参加者一同「介護学」の確立に向けて決意を新たにしました。

講座開催報告

佐久大学では下記の講座を開催し、多くの方にご参加いただきました。

7月17日
(月・祝)

佐久大学公開講座

「いつまでも元気に歩ける知恵と工夫」

講師：(公財)身体教育医学研究所所長

岡田真平 氏



8月5日
(土)

佐久大学ミニ公開講座

「歯と口腔の健康：いつまでも
美味しく食べるために」

講師：長野県歯科衛生士会会長

宮嶋典子 氏



10月28日
(土)

佐久大学公開講座

「食事介護の知恵と工夫」

講師：ジェイエー長野会教育顧問

櫻井記子 氏



講座のご案内

詳細はホームページにてご確認ください。
<http://www.saku.ac.jp>

● 佐久大学ミニ公開講座

「足の健康：自分でできる足のトリートメント」 **終了**

11月18日(土) 14:00~15:30

講師：小野澤清子 氏 (フットケア足美人代表)
宮原香里 (佐久大学講師)

● 信州短期大学部公開講演会

「自宅での認知症の人との関わり方」 **終了**

11月12日(日) 13:30~15:00

講師：堀内ふき (佐久大学 / 佐久大学信州短期大学部学長)

「アザラシ型ロボットによる認知症ケアと介護予防」 **終了**

11月26日(日) 13:30~15:30

講師：柴田崇徳 氏 (産業技術総合研究所)

● 信州短期大学部公開講座【要申込 / 受講料 6,000円】

Excel で家計簿 (全6回)

12月4日(月)開始 ● 昼の部 10:40~12:10
● 夜の部 18:00~19:30

講師：三池克明 (信州短期大学部講師)

公開講座の内容を 知恵袋としてまとめた 冊子を作成しました



佐久大学では、佐久市、佐久市商工会議所、地元医師会・薬剤師会の後援を得て、2015年「医療を受けるときのガイドブック」(長野県地域発元気づくり支援金事業)、2016年「健康生活の知恵ハンドブック」(前記継続事業、佐久市まちづくり活動支援金事業)の小冊子を作製し、2015年版は病院、薬局等に、2016年版は佐久市内全戸と近隣地区に配布しました。

冊子をご希望の方はお問い合わせください。

佐久大学 TEL.0267-68-6680



「足の健康 足の健診 足の研究」まとめて 「あしけん」プロジェクト!

靴文化の歴史が浅い日本では、身長体重の実測値は知っていても、自分の足長や足幅は、靴購入時の履き心地だけで推測しているのではないのでしょうか。そのため、足長にあわない靴、おしゃれで格好よいけど幅の狭い靴、間違った履き方による足趾や爪のトラブル発生で悩んでいる人も多くいます。

そこで佐久大学では、小児から高齢者に至る多くの人々の足の状態を簡便に測定できる機器開発を目的とするプロジェクトを開始しました。【長野県 現場課題解決型医療・福祉機器開発支援事業「集団健診用足測定器の開発」】を進めているのが「あしけん」です。

産学官連携で開発するこの機器で健診を行うことによって、足長、足幅だけでなく、足裏形状（扁平足、開帳足、浮き指等）、変型などの予防と早期発見が可能となります。

今後、足から始まる健康づくり、足に対する意識改革を佐久大学から発信していきます。



シリーズ領域紹介③ 老年 看護学

「老年看護学」とは、医学だけではなく心理学、社会学、福祉学など多様な視点をもって高齢者への看護を考える学問分野です。私たち教員は認知症などの疾患をもちながら生活する高齢者のケアについて教育・研究をしています。看護学部の授業「老年看護学概論」「老年看護援助論」「老年看護学実習」では、学生は加齢に伴う身体・心理・社会的な変化、高齢者に多い疾患・症状について理解を深めます。またこれらの疾患や症状が



加齢変化を疑似体験する様子



病棟で学生と教員が相談している様子

生活にどのように影響を及ぼすのか考え、高齢者の持つ力を引き出しながら援助する技術・能力を高めます。

実習はリハビリテーション病院と介護老人保健施設で行い、何らかの障害や機能低下を抱えながらもその人らしく生活するために必要な看護を考え、実践しています。また、看護職、介護福祉士など多くの職種との協働も学びます。学生には高齢者に関わることの楽しさを実感してもらえたらうれしいです。

SERIES② 教員の 活躍



佐久大学看護学部助教 小林 睦

佐久大学へ勤めて4年目になります。大学生で言えばやっと最終学年です。

総合病院小児病棟の看護師を経て、看護専門学校に専任教員として14年間勤めていました。看護教員になり10年を過ぎた頃から、看護のやりがい・楽しさを学生に伝えられているのか疑問に思うようになったため、大学院に進学し、看護教員の教育能力に関する研究に取り組みました。

昨年は、タイとベトナムの看護教員への調査をし、海外の教員の、教育に対する熱意と意欲に圧倒されました。国際的な視野

や関心を持つことが、自分の看護教育の能力を見つめ直すきっかけになると学びました。

大学の外では、「子どもの電子メディア過剰接触の問題」に対する啓発活動などを行っている「Saku KidsメディアSafety」に委員として参加しています。

教育・研究もですが、地域活動も人々との出会いや繋がりがとても大切だと実感しています。けっして一人ではできないことを支えていただき、感謝しています。

6/16 30 教員対象説明会

県内外の高等学校教員を対象に、入試に関する説明会を行いました。



6/24 8/11 9/2

佐久大学オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスを3回開催しました。



6/26~30 信州短期大学部授業公開

教員相互による教育方法の改善や教育の質の向上を図ることを目的に、授業公開を行いました。



7/13 アフガニスタン青年研修

JICAの委託を受け、青年研修・アフガニスタン母子保健実施管理コースを佐久市と連携して実施しました。



7/17 8/5 佐久大学公開講座

「いつまでも健康に暮らす知恵」と題し、健康的な生活を続けるための知恵や工夫について講座を行いました。



5/27 JA 長野厚生連病院交流会

本学において、JA長野厚生連各病院に勤めている佐久大学卒業ナースが来て病院を紹介しました。その後、交流会が行われました。



6/3 佐久大学同窓会講演会

復元納棺師の笹原留子氏をお迎えし「生と向き合うということ」をテーマに講演会を開催しました。136名もの参加がありました。



6/8 7/22 8/26 9/14

SAKU 看護管理研究会

“人的資源管理”に焦点をあて、スタッフが輝く職場づくりをテーマに5回開催します。



6/11 NCPR 講習会

別科助産学専攻の学生を対象に、新生児蘇生法「専門」コース講習会を学内で行いました。



6/12 佐久大学×次期5か年計画策定

将来の長野県の姿についてグループワークを行い、「私たちの提案」としてまとめ、中島副知事に政策提案を行いました。



5/16 開学祭

ソフトバレーボール大会や、信州沖縄塾塾長の伊波氏による開学記念講話「病み捨ての戻り道」が行われました。



5/10~21 佐久JICA草の根事業

佐久市との地域包括連携協定の中で行うJICA草の根技術協力の一環として、タイからの研修員を受け入れました。

5/20 21 佐久病院祭

第71回JA長野厚生連佐久総合病院の病院祭が行われ、本学から多くの学生がボランティアとして参加しました。



5/22~26 6/15~28 EBN 実習

看護学部2年生が初めての看護学実習「EBN (Evidence-Based Nursing) 実習I・II」に取り組みました。



5/27 6/24 7/29 9/2 9/30

信州短期大学部オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスを5回開催しました。



10/7 大学院進学相談会

来年度新設される「プライマリケア看護コース」の説明会を行いました。(→P.2)



10/14 健康づくり佐久市民のつどい

ボランティア学生10名と教員2名が「佐久市健康体操をしよう」“大学生とあそぼう”と題したブースを出展しました。



10/21-22 大学祭

佐久大学秋桜祭&信州短期大学部信陽祭を開催しました。(→P.8)



9/12-14 大学見学

上田高校の生徒が、SGH(スーパーグローバルハイスクール)県内フィールドワークの一環として本学を訪れました。



9/14 台湾宜蘭県衛生局の介護視察

佐久市つばさプロジェクトの一環として、台湾宜蘭県衛生局が本学の視察を行いました。



9/28 国際福祉機器展視察

介護環境改善研究事業として、東京ビッグサイトで行われた国際福祉機器展を視察しました。



8/3 足から始める健康づくり

長野県現場課題解決型医療・福祉機器開発支援事業に採択された「足の集団健診用機器開発」のキックオフフォーラムを開催しました。(→P.5)



9/8 ナーシングセレモニー

半年間にわたる実習を前に、看護学部3年生88名がナーシングセレモニーを行いました。



9/9 第6回信州介護学研究会

第6回となる信州短期大学部主催の介護学研究会を開催しました。(→P.4)



10/12 ぞっこん! さく市

「健:丸ごと計測ゾーン」“足の計測と足型を取ろう”ブースでの、フットプリントボランティアとして学生が参加しました。

国家試験対策

看護師
国家試験

佐久大学看護学部の「国家試験対策部会」は8人の教員で構成され、受験生全員の合格を目指して運営しています。

【国家試験の動向】

今日では、診断画像などの視覚素材、従来に比べてより長文化した状況設定問題の導入等、臨床的判断力を求める試験内容に変わってきています。

【合格だけが目的ではない】

国試受験資格を得るには卒業見込みとなるのが条件です。国試合格は大変そうに聞こえますが、実は、4年間のカリキュラムの学修を順調に成し遂げることのほうがハードルは高いのです。

【佐久大学の学修支援】

学修支援は1年次から始まります。教員主催の「国試交流会」では、国試の動向とその分析結果ならびに模試結果の見方等を解説します。学生が構成する「さくらさく委員会」では、合格(サクラサク)に向けて、学生間の情報共有を図っています。

国試合格を目標に、実は、日々の学修姿勢、学修方法をセルフアセスメントしていく活動に取り組むこと、これが合格への一番の近道であり、部会の願いでもあります。

介護福祉士
国家試験

これまでは、養成施設を卒業すれば、国家試験を受験せずに介護福祉士資格を取得することができましたが、2022年度からは、国家試験が義務化され、合格しなければ資格が取得できないとなることになりました。2017年度から2021年度はその経過措置期間となります。この期間の卒業生には5年間の期限付きで介護福祉士資格が与えられ、期限内に国家試験に合格するか、もしくは5年間現場で勤務することで正式に介護福祉士の資格が認められます。このことを受け信州短期大学部では、今年度卒業予定者から、資格取得希望者全員が介護福祉士国家試験を受験します。

【全員合格に向けた2つの取組み】

1. 自主学習アプリの活用

介護福祉士受験対策アプリを活用し、自宅や空き時間にスマートフォン等で、過去問題や模擬問題を解いています。

2. 模擬試験の複数回実施

試験そのものに慣れるよう模擬試験を複数回実施しています。結果から自分の弱点を見つけるとともに、これからの時期はケアレスミスのチェックに重点を置いていきます。

第10回 秋桜祭 & 第30回 信陽祭



ONE みんなが1つに ~たった1つの大学祭~

10月21日・22日に大学祭が開催されました。2日目は雨天となり、台風が近づく中での開催となりましたが、ステージ企画、模擬店など、すべて室内で実施し、楽しんでいただくことができました。準備、運営にあたっては大変なことが沢山ありましたが、今年は特に大学生と短大生の結束力が高く、テーマのとおり「みんなが1つ」になって素晴らしい大学祭を創り上げることができました。



スケート部

スケート部 部長 山浦 美和子
(短期大学部1年)

1周111.12mのコースを4～6人で滑り、その着順を競い合うショートトラックスピードスケート。「氷上の競輪」とも呼ばれていて、とてもスリリングな競技です。

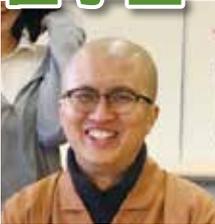


スケート部は今年創部したばかりで、現在の部員は私とマネージャーの2名です。

大学授業終了後、野辺山の帝産クラブで毎日トレーニングしています。来年の1月4・5日に軽井沢町の風越公園でインカレが開催されます。目下のところインカレでの優勝が目標です。リンクに足を運んでいただけたら嬉しいです。

留学生

留学生 釈 覚明
(短期大学部1年)



短大福祉学科の留学生・釈覚明さんはマレーシア出身の僧侶です。宗教学修士を終えた後、看取りケアに興味をもち、日本へやってきました。とても努力家で儉約家です。日本のお寺やお地藏様に興味があるようです。どこかで見かけたら声をかけてあげてください。

「みなさんこんにちは。毎日大変ですが、新しいことをたくさん学んでいます。寒さに負けず、皆さんとの縁を広げ頑張りますので応援よろしく願いいたします。」

編集後記

佐久大学開学10周年・信州短期大学部開学30周年の節目に、大学院看護学研究科で特定看護師・診療看護師(NP)を育成する「プライマリケア看護コース」をスタートさせる計画です。本誌を通じて佐久学園が発展していく様子をお伝えできることを、うれしく思っています。
(征矢野)

Voice of Graduates

卒業生の声 No.5



上松町健康増進センター
(上松町役場)勤務

小椋 絵理香さん

佐久大学
看護学部 3期生

A1 Q1 現在の仕事内容
保健師として、住民の方々とつながりや何でも挑戦してみる気持ちを大切に、様々な事業に取り組んでいます。国保特定健診・がん検診の受診勧奨や、特定保健指導、乳幼児保健指導、母子・成人分野に関することを行っています。

A2 Q2 仕事で大変なこと
様々な価値観を持っている方々と出会う中で、自分のものさしで物事を捉えてしまっている自分に気づき、どう対応しているかが難しさを感じます。

A3 Q3 仕事でうれしかったこと
健康診断の結果が徐々に改善されていくことを一緒に共有できたこと、育児に不安を抱えているお母さんの不安感を軽減できたこと。

A4 Q4 大学時代の思い出
大変なことも友人や先生方がいたからこそ最後まで頑張り続けることができました。サークル活動や旅行も楽しめ、充実した大学生活でした。

A5 Q5 学生にアドバイス
講義、実習など、毎日の経験が今の仕事にも活かしています。学生時代に様々な方々とコミュニケーションを取り、挑戦できることに積極的に取り組むことが大切だと思います。

A6 Q6 今後の目標
健康づくりへの取り組みを積極的に考え実施につなげていきたいです。また、住民の方々に伝えるべきことはきちんと伝えられる心のぶれない保健師になりたいと思っています。